

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公表番号】特表2004-502782(P2004-502782A)

【公表日】平成16年1月29日(2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-004

【出願番号】特願2002-509360(P2002-509360)

【国際特許分類】

C 0 7 K      7/08      (2006.01)

A 6 1 K      39/00      (2006.01)

A 6 1 P      11/00      (2006.01)

A 6 1 P      31/04      (2006.01)

【F I】

C 0 7 K      7/08      Z N A

A 6 1 K      39/00      H

A 6 1 P      11/00

A 6 1 P      31/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月17日(2007.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 *S t r e p t o c o c c u s p n e u m o n i a e P s a A* または *P s a A* の免疫原性フラグメントを用いた動物の免疫に応答して得られたモノクローナル抗体に免疫特異的に結合する複数抗原性ペプチド。

【請求項2】 前記ペプチドが、配列番号5、配列番号6、配列番号7、配列番号8、配列番号9、配列番号10、および配列番号5～10の免疫原性フラグメントからなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項3】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号5またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項4】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号6またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項5】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号7またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項6】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号8またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項7】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号9またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項8】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号10またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項9】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号5またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第一アーム、および配列番号6またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第二アームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項10】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号5またはその免疫原性フラグ

メントを含む少なくとも1つの第一アーム、および配列番号9またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第二アームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項11】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号5またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第一アーム、配列番号6またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第二アーム、および配列番号7またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第三アームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項12】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号5またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第一アーム、配列番号9またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第二アーム、および配列番号10またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第三アームを有する、請求項2に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項13】 前記複数抗原性ペプチドが、脂溶化されている、請求項1に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項14】 前記複数抗原性ペプチドが、モノパルミチン酸で脂溶化されている、請求項13に記載の複数抗原性ペプチド。

【請求項15】 被験体においてS.pneumoniae感染に対する防御免疫を付与するための組成物であって、該組成物は、Streptococcus pneumoniae PsAまたはPsAの免疫原性フラグメントを用いた動物の免疫に応答して得られたモノクローナル抗体に免疫特異的に結合する複数抗原性ペプチドを含み、ここで該複数抗原性ペプチドは、S.pneumoniaeに対して免疫原性である、組成物。

【請求項16】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号5またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項15に記載の組成物。

【請求項17】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号6またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項15に記載の組成物。

【請求項18】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号7またはその免疫原性フラグメントを含むアームを有する、請求項15に記載の組成物。

【請求項19】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号5またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第一アーム、配列番号6またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第二アーム、および配列番号7またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第三アームを有する、請求項15に記載の組成物。

【請求項20】 前記複数抗原性ペプチドが、配列番号5またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第一アーム、配列番号9またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第二アーム、および配列番号10またはその免疫原性フラグメントを含む少なくとも1つの第三アームを有する、請求項15に記載の組成物。

【請求項21】 前記複数抗原性ペプチドが、脂溶化されている、請求項15に記載の組成物。

【請求項22】 前記複数抗原性ペプチドが、モノパルミチン酸で脂溶化されている、請求項21に記載の組成物。